



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2009年（平成21年）2月25日号 No. 1455

目次

■ヨーロッパのエネルギー安全保障とロシア	蓮見 雄	1
■トピックス		8
サハリン2のLNG工場が完成		11
ココカラファインがロシア進出へ		12
IHIがウラジオストク橋建設を受注		12
北海道銀行サハリン事務所認可		12
北海道経産局がロシアビジネス支援窓口		12
■エトセトラ		13
『調査月報』2009年3月号のご案内		13
ナザルバエフ大統領の著書を送呈		13

ヨーロッパのエネルギー安全保障とロシア

立正大学 経済学部教授
ユーラシア研究所事務局長
蓮見 雄

当会は2月9日、ユーラシア研究所との共催により、講演会「ロシア・ウクライナ天然ガス紛争をめぐって」（於：立正大学大崎キャンパス）を開催した。「ヨーロッパのエネルギー安全保障とロシア」（蓮見雄・立正大学経済学部教授）および「ガス値上げ後のウクライナの行方」（服部倫卓・ロシアNIS経済研究所次長）と題するテーマで、ロシア・ウクライナ天然ガス紛争の経緯を跡付け、新合意の概要を分析するとともに、一連の経緯がヨーロッパのエネルギー安全保障に及ぼす影響について考えるという試みである。今号では、そのうち「ヨーロッパのエネルギー安全保障とロシア」の講演概要をご紹介します。

はじめにーガス紛争の「再燃」？

2005年末～2006年初にロシア・ウクライナのガス紛争の影響で欧州諸国のガス不足が生じて以来、エネルギー安全保障は、ヨーロッパにおける最重要課題のひとつとして広く認